

## 肝炎患者に対する偏見や差別に関する 実態調査とその分析

### ア. 肝炎患者アンケート 4-1. あなたが肝炎であることを 知っている人

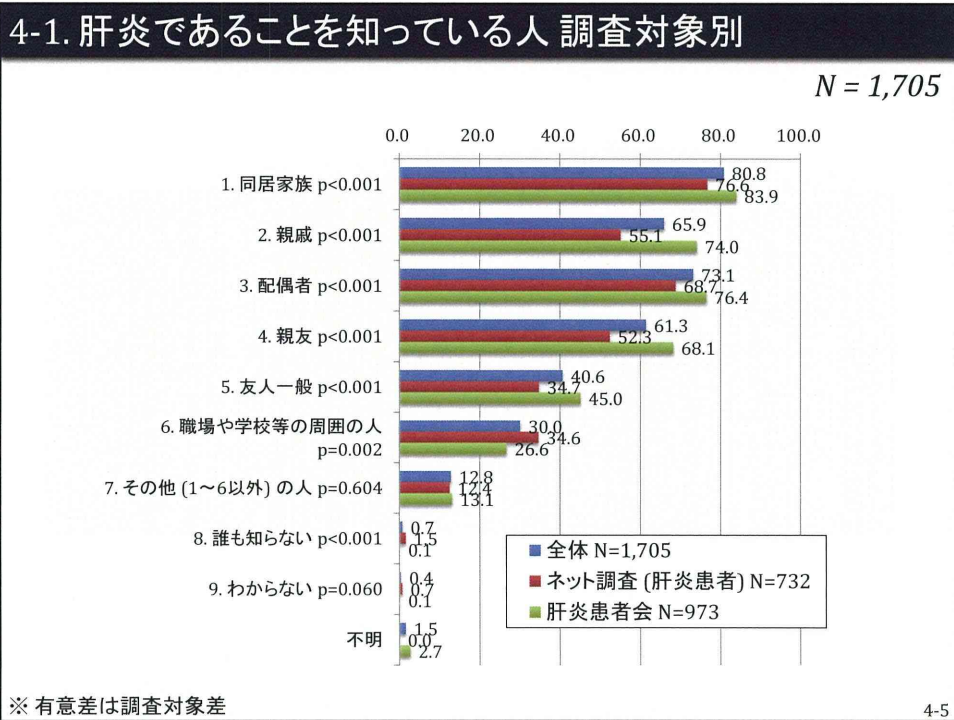
4-3

#### 4-1. 肝炎であることを知っている人 集計方法

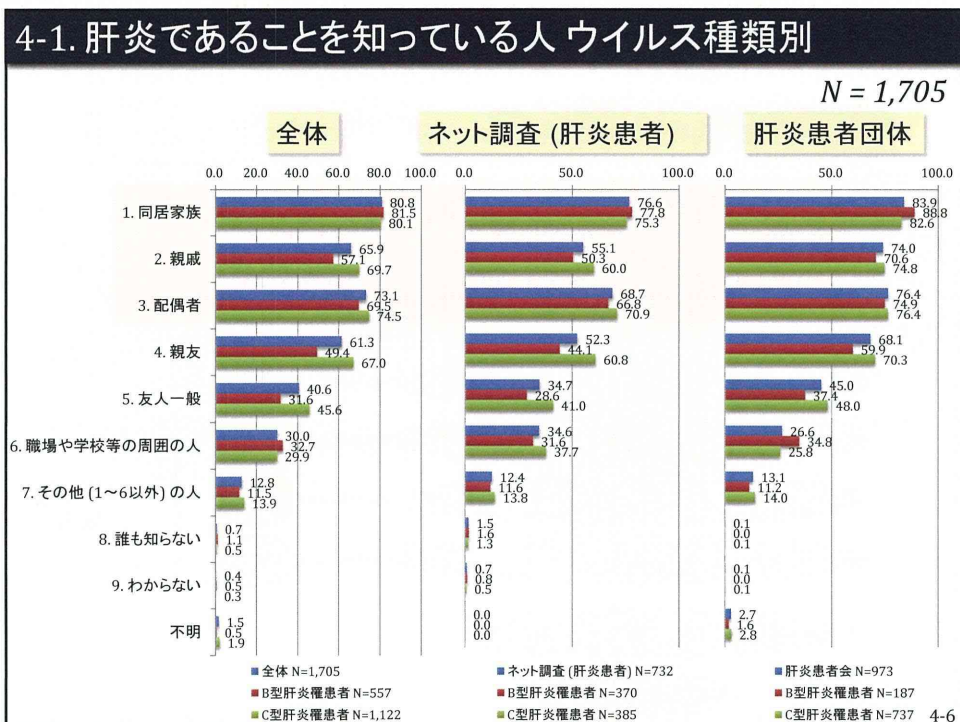
問2-3. あなたが肝炎であることは、誰が知っていますか **複数回答**

- |                  |
|------------------|
| (1) 同居家族         |
| (2) 親戚           |
| (3) 配偶者          |
| (4) 親友           |
| (5) 友達一般         |
| (6) 職場や学校の周囲の人   |
| (7) その他(1~6以外)の人 |
| (8) 誰も知らない       |
| (9) わからない        |
| 不明               |

4-4



4-5



4-6

## 肝炎患者に対する偏見や差別に関する 実態調査とその分析

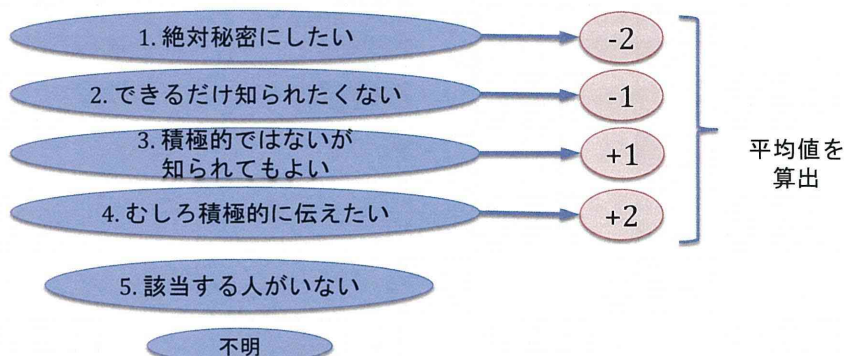
### ア. 肝炎患者アンケート 4-2. 肝炎患者であることを 知られても構わないか

4-7

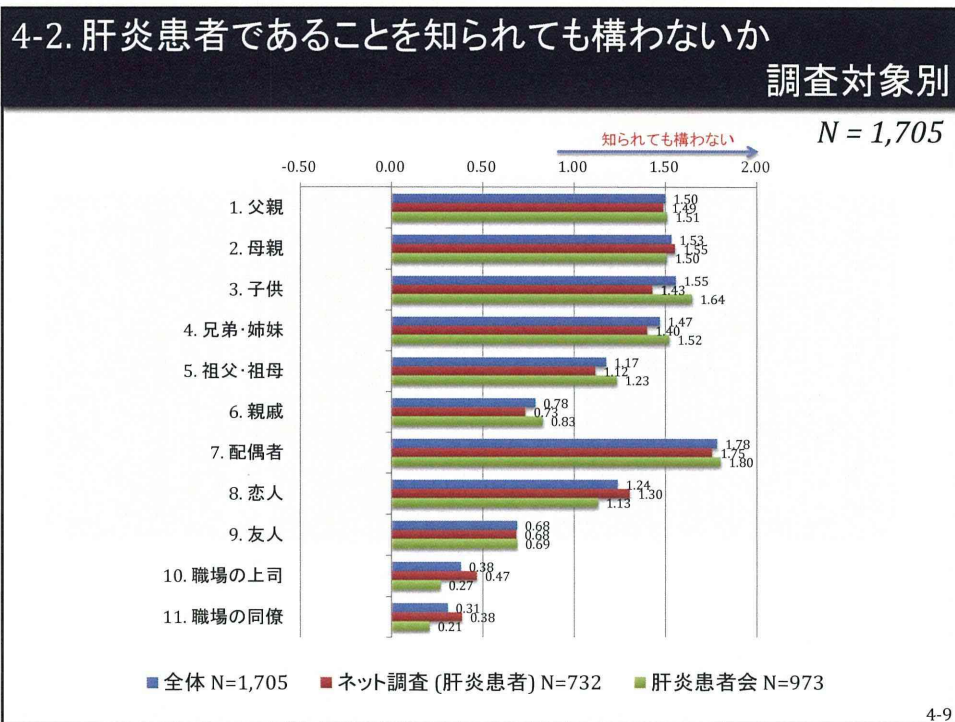
#### 4-2. 肝炎患者であることを知られても構わないか 概要

問2-4 あなた自身が肝炎患者であることについて、  
下記の人々(家族・友人など)に知られても構わないと考  
えますか

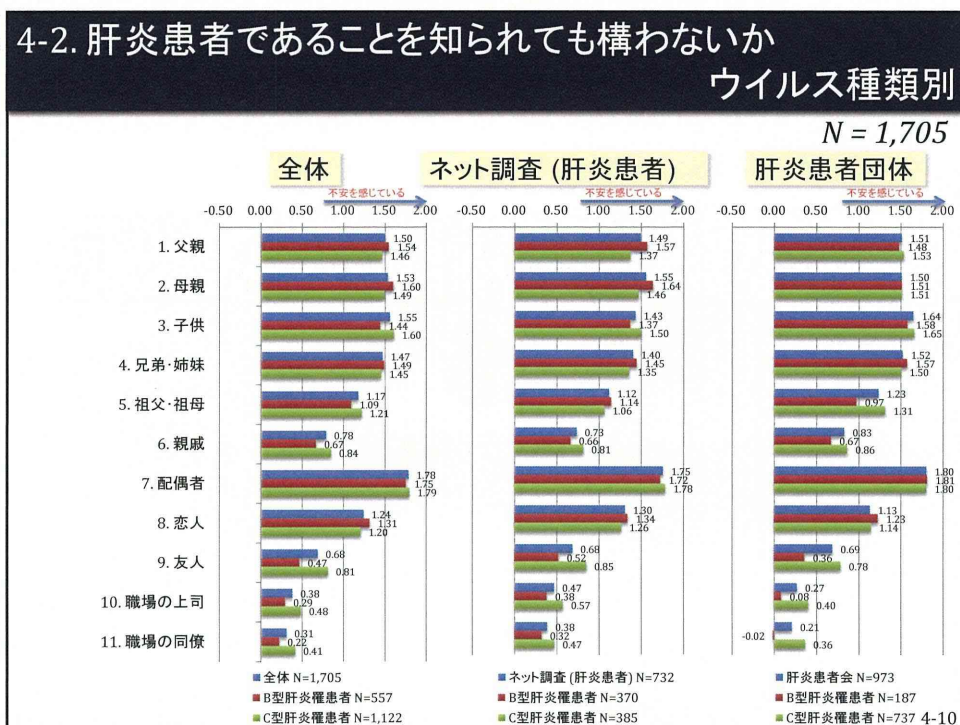
(1) 父親	(2) 母親	(3) 子供	(4) 兄弟・姉妹
(5) 祖父・祖母	(6) 親戚	(7) 配偶者	(8) 恋人
(9) 友人	(10) 職場の上司	(11) 職場の同僚	



4-8



4-9



## 肝炎患者に対する偏見や差別に関する 実態調査とその分析

### ア. 肝炎患者アンケート 4-3. 自分が肝炎患者であることを 知っている人の人数

4-11

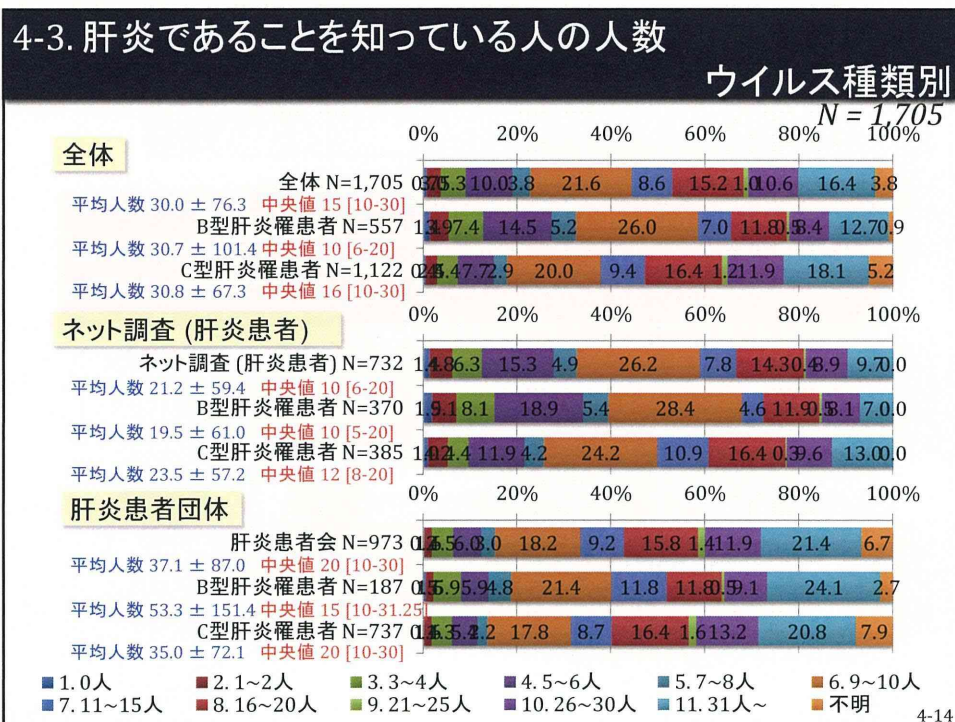
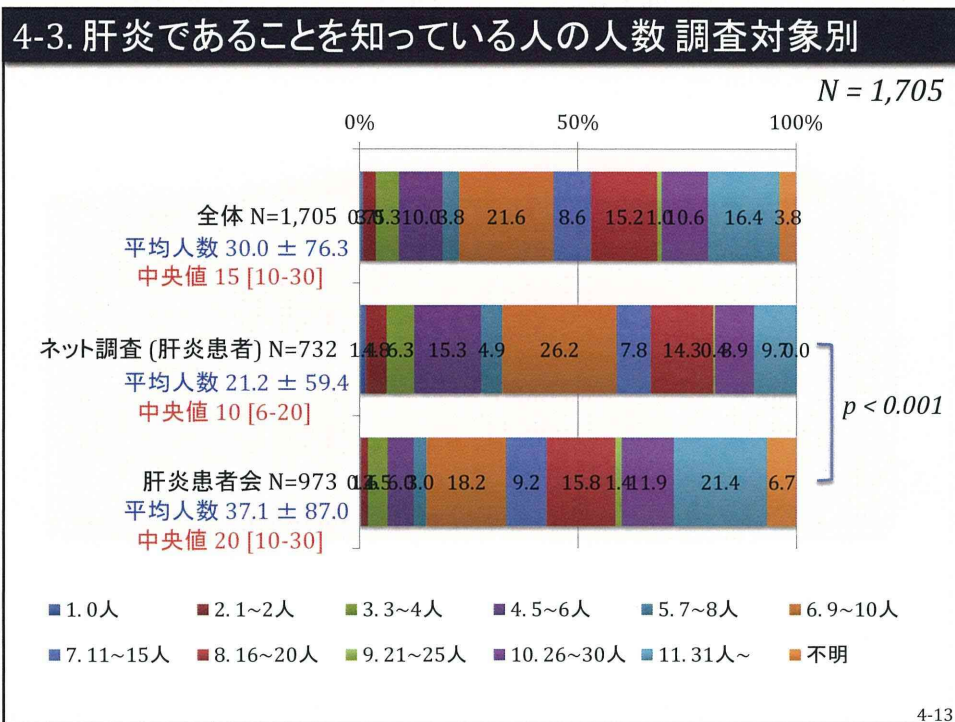
### 4-3. 肝炎であることを知っている人の人数 集計方法

問2-5 あなた自身が肝炎患者であることを、医療者を除き(近親者を含む)  
およそどのくらいの人を知っていると思いますか



平均値と中央値を算出

4-12



## 肝炎患者に対する偏見や差別に関する 実態調査とその分析

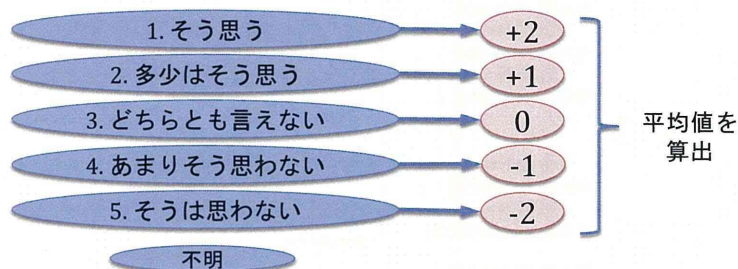
### ア. 肝炎患者アンケート 4-4. 肝炎に感染していることを 知られたくない理由

4-15

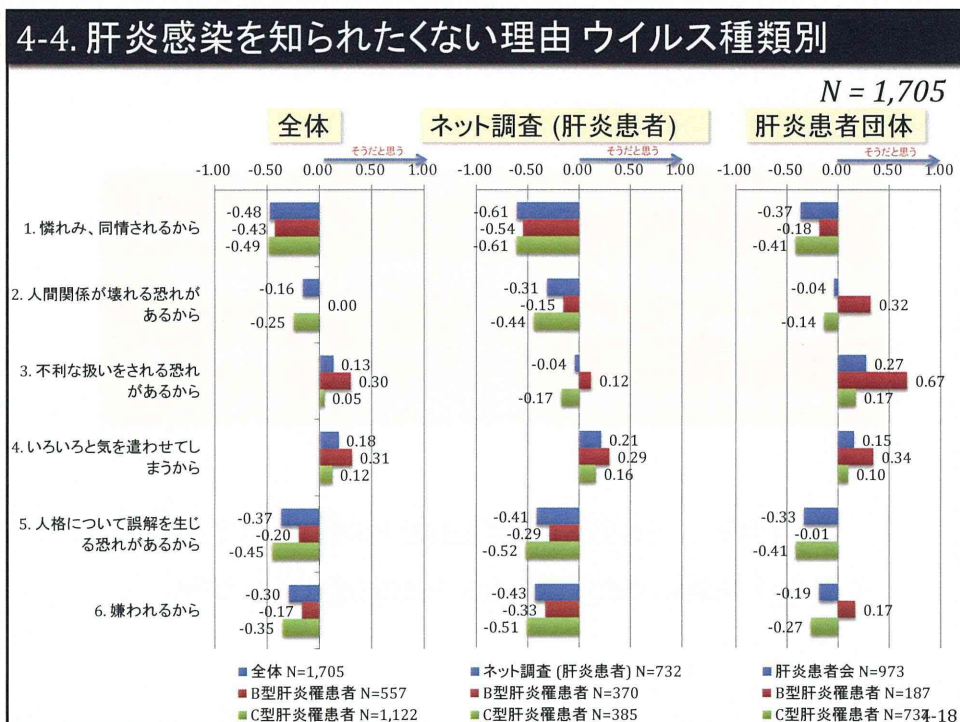
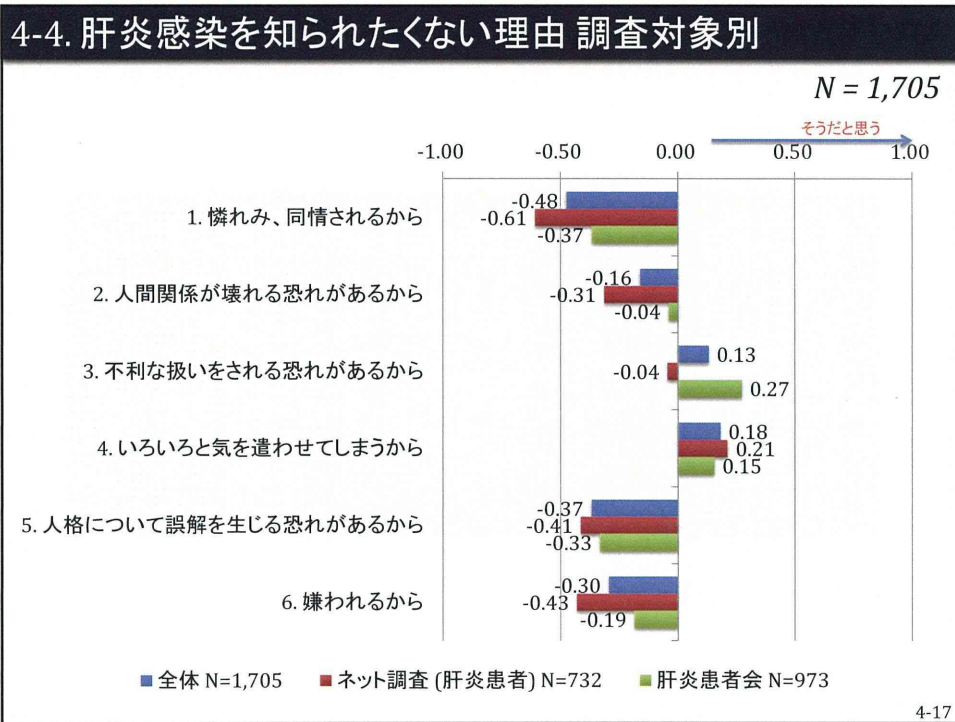
#### 4-4. 肝炎感染を知られたくない理由 集計方法

問2-6 肝炎患者が、肝炎に感染していることを知られたくないのは  
どのような理由からだと思えますか

(1) 憐れみ、同情されるから	(2) 人間関係が壊れる恐れがあるから
(3) 不利な扱いをされる恐れがあるから	(4) いろいろと気を遣わせてしまうから
(5) 人格について誤解を生じる恐れがあるから	(6) 嫌われるから



4-16





## 肝炎患者に対する偏見や差別に関する 実態調査とその分析

### ア. 肝炎患者アンケート 5. 肝炎や肝炎への偏見・差別に 向けての行動

5-1

## 5. 肝炎や肝炎への偏見・差別に向けての行動 概要

- 5-1. 肝炎患者への偏見・差別防止を目的とする活動への関与  
(調査対象別・ウイルス種類別) ... 問1-9
- 5-2. 肝炎に関する情報収集 (調査対象別・ウイルス種類別) ... 問1-10
- 5-3. 偏見や差別解消に効果的な活動  
(調査対象別・ウイルス種類別) ... 問2-1
- 5-4. 差別への対処方法 (調査対象別・ウイルス種類別) ... 問2-11

・調査対象別 : ①ネット調査(肝炎患者) ②肝炎患者会 別で集計

・ウイルス種類別 : ①B型肝炎罹患患者 ②C型肝炎罹患患者 別で集計

5-2

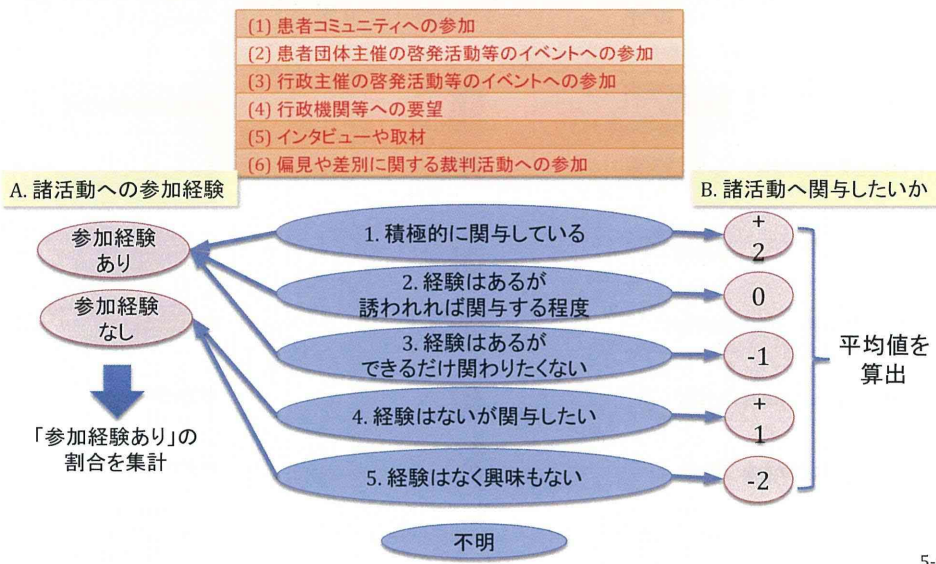
## 肝炎患者に対する偏見や差別に関する 実態調査とその分析

### ア. 肝炎患者アンケート 5-1. 肝炎患者への偏見・差別防止を 目的とする活動への関与

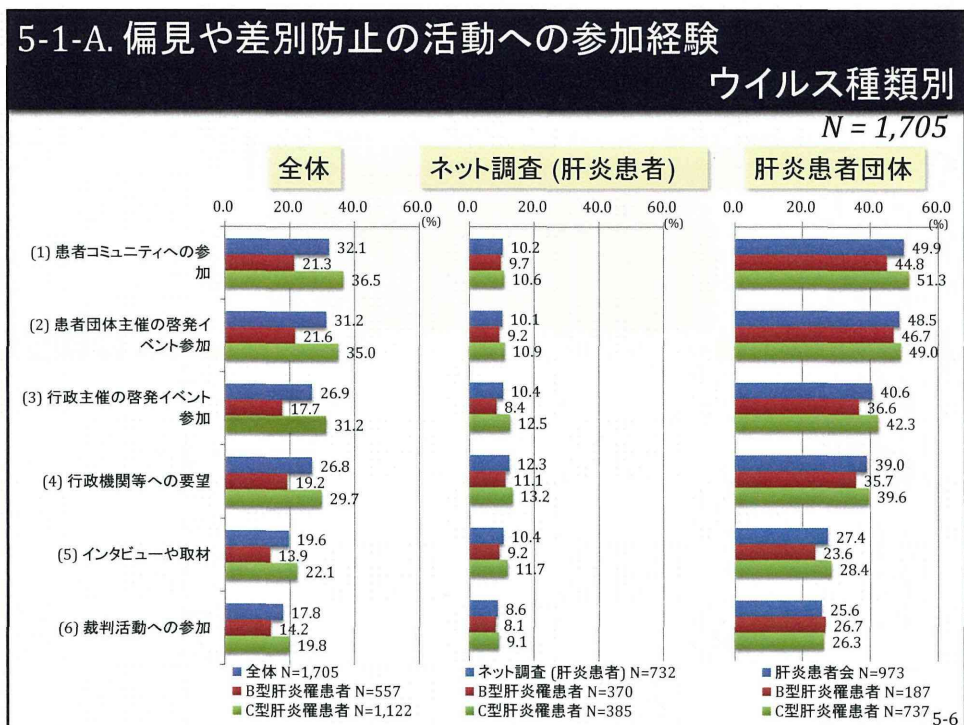
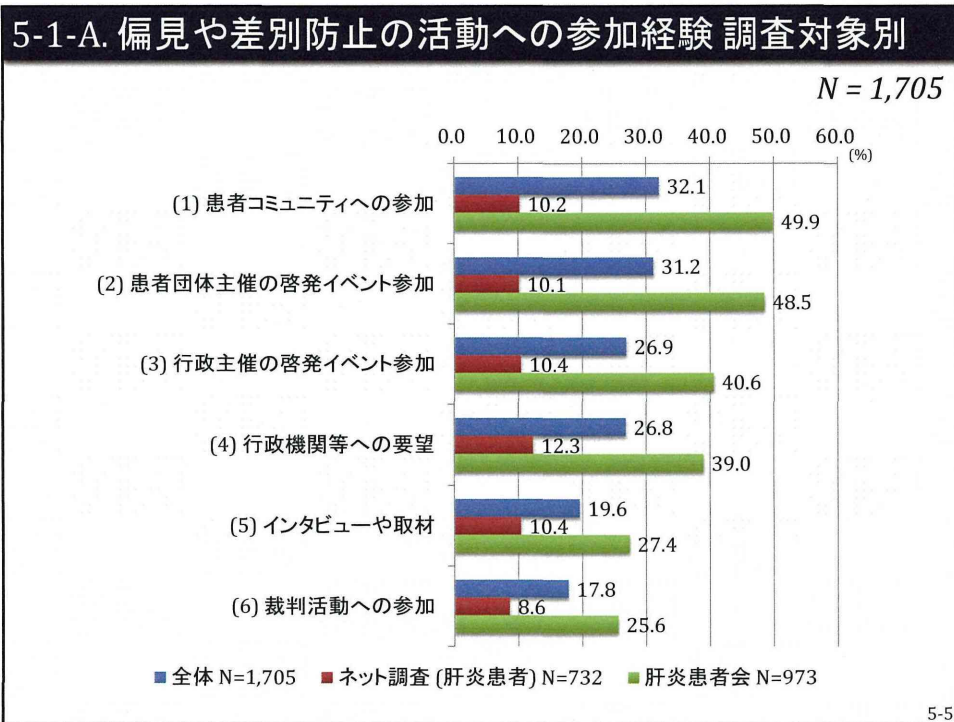
5-3

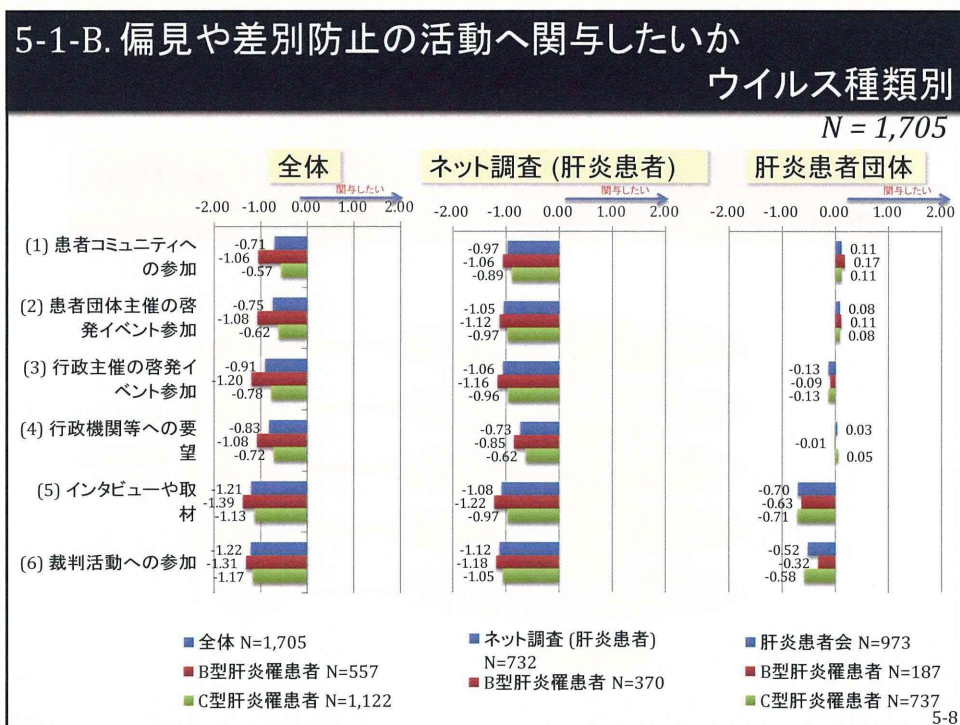
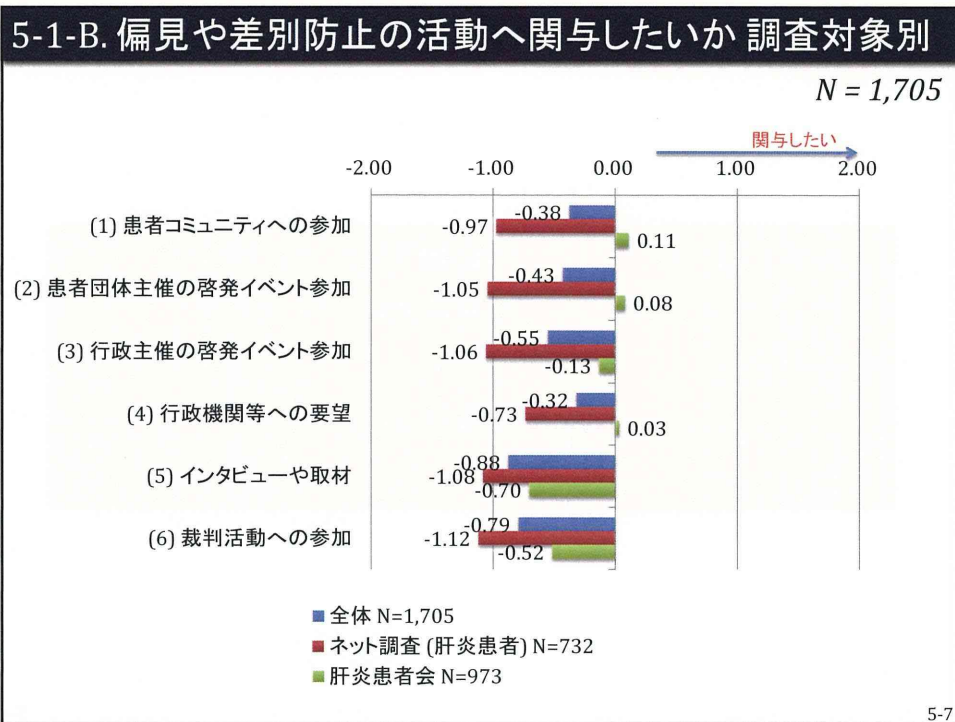
### 5-1. 偏見や差別防止の活動への関与 集計方法

問1-9 (1)~(6) 肝炎患者への偏見や差別の防止を目的とする諸活動に関与しているか



5-4





## 肝炎患者に対する偏見や差別に関する 実態調査とその分析

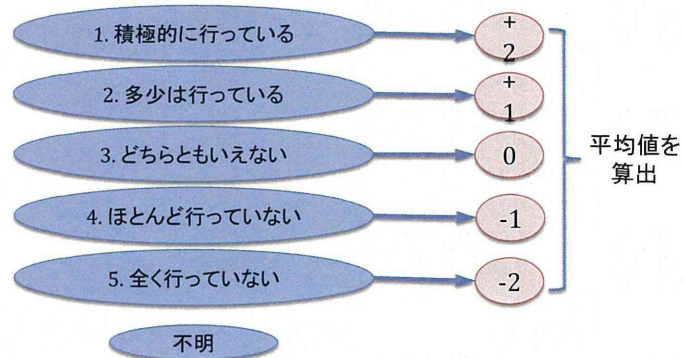
### ア. 肝炎患者アンケート 5-2. 肝炎に関する情報収集

5-9

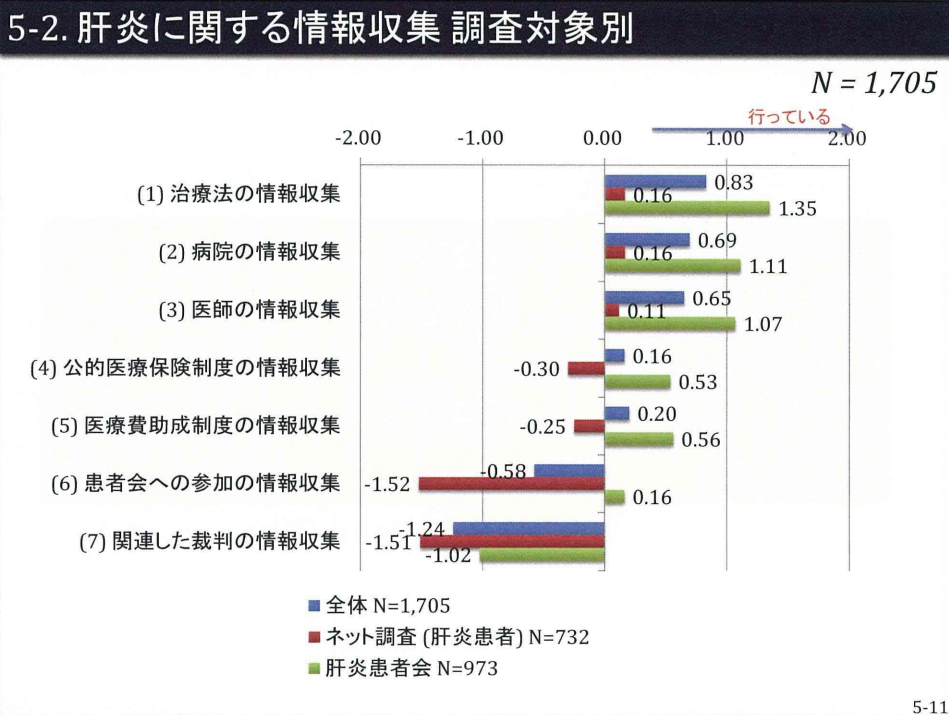
### 5-2. 肝炎に関する情報収集 集計方法

問1-10 (1)~(7) 肝炎に関し、(治療・助成などの) 情報収集を行っているか

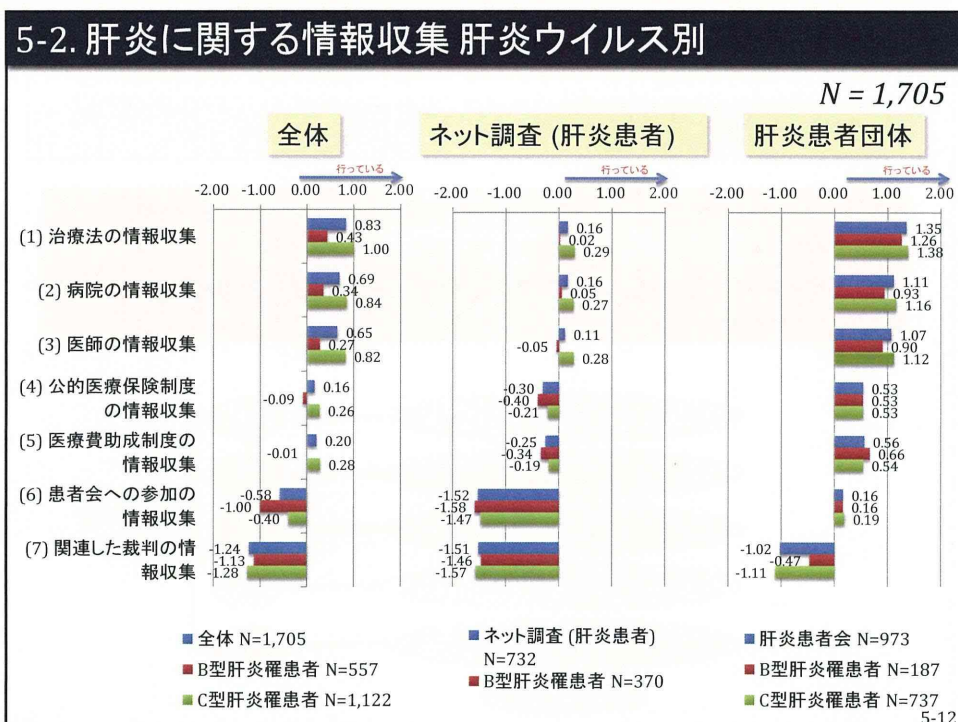
(1) 治療法	(2) 病院	(3) 医師	(4) 公的医療保険制度
(5) 医療費助成制度	(6) 患者会等への参加	(7) 関連した裁判	



5-10



5-11



5-12

## 肝炎患者に対する偏見や差別に関する 実態調査とその分析

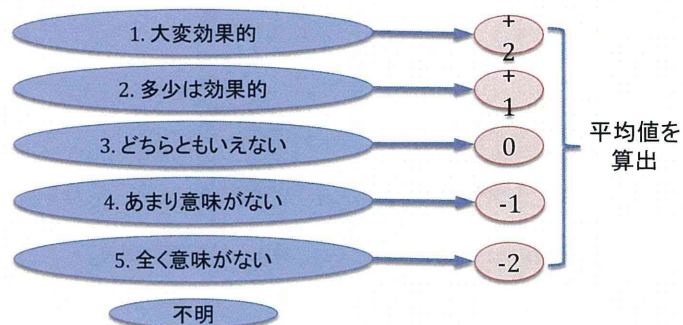
### ア. 肝炎患者アンケート 5-3. 偏見や差別解消に効果的な活動

5-13

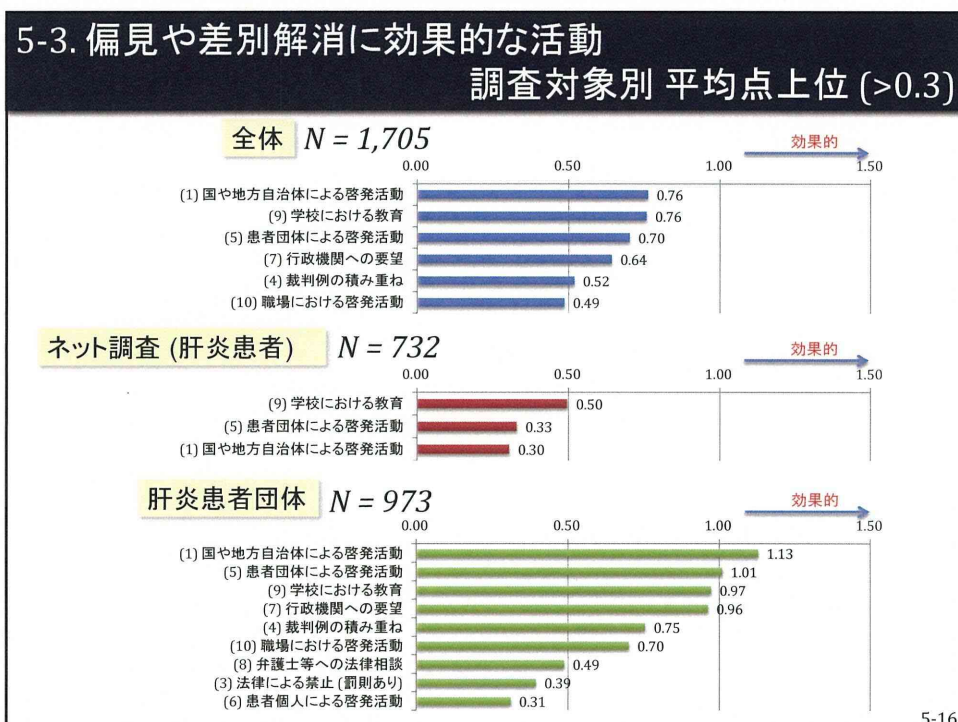
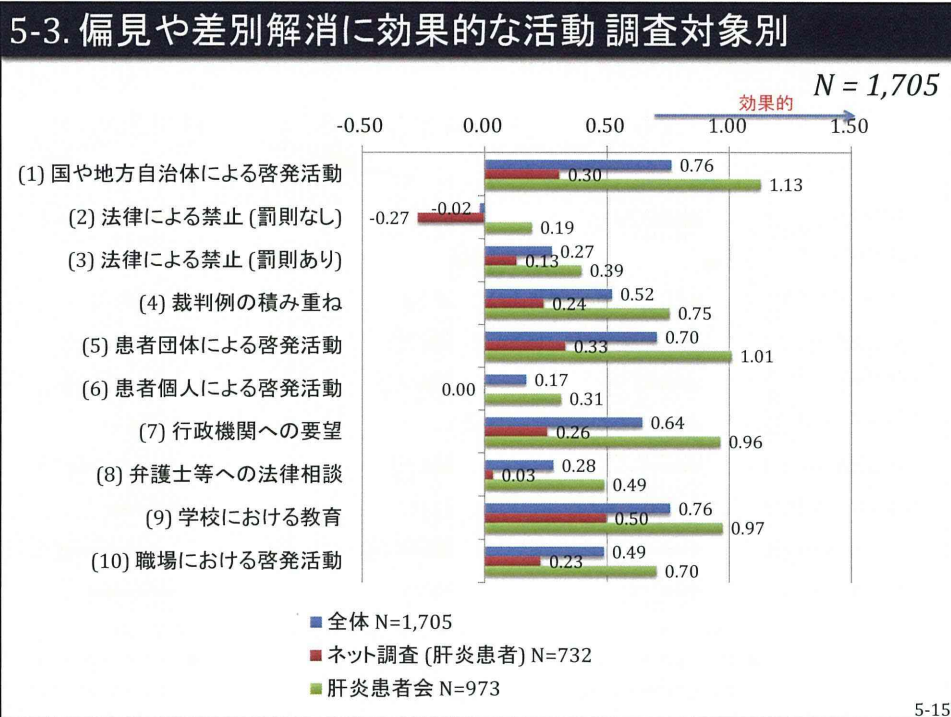
### 5-3. 偏見や差別解消に効果的な活動 集計方法

問2-1 (1)~(10) あなたは以下の諸項目(啓発活動など)が、肝炎患者に対する偏見や差別の解消のために、どのくらい効果的だと思いますか

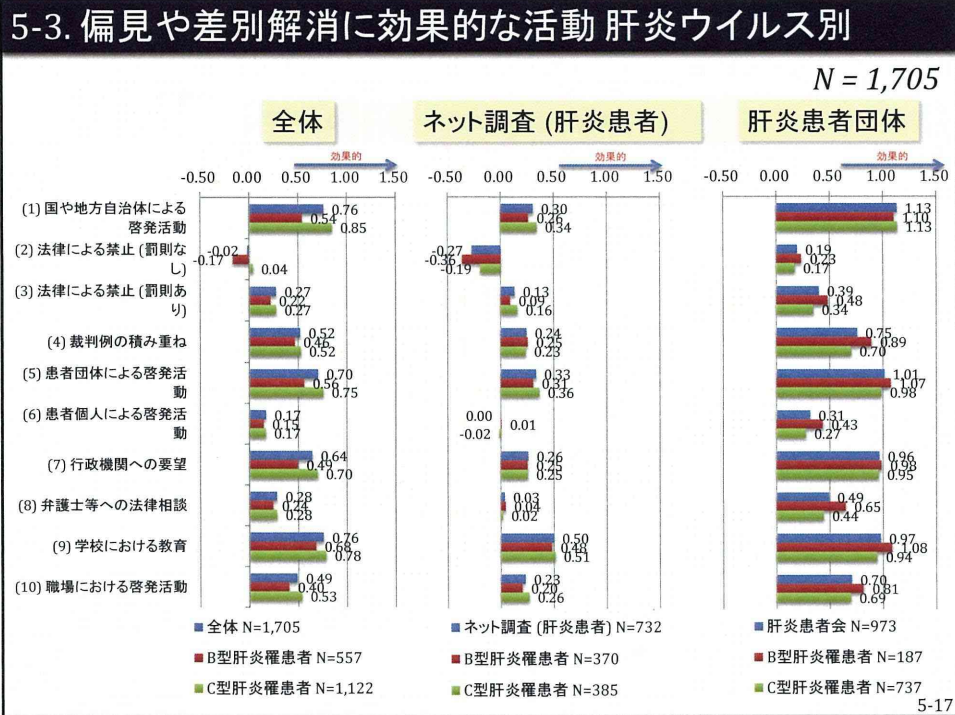
(1) 国や地方自治体による啓発活動	(2) 法律による禁止(罰則なし)	(3) 法律による禁止(罰則あり)
(4) 裁判例の積み重ね	(5) 患者団体による啓発活動	(6) 患者個人による啓発活動
(7) 行政機関への要望	(8) 弁護士等への法律相談	(9) 学校における教育
(10) 職場における啓発活動		



5-14







(空白ページ)

## 肝炎患者に対する偏見や差別に関する 実態調査とその分析

### ア. 肝炎患者アンケート 5-4. 差別への対処方法

5-19

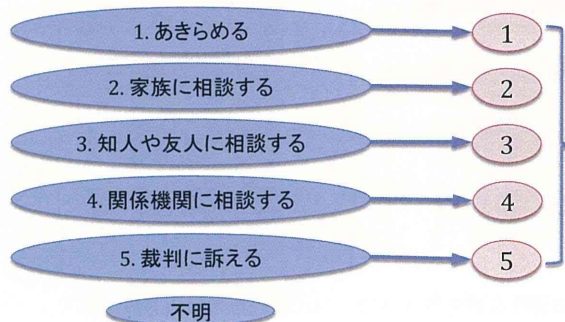
#### 5-4. 差別への対処方法 集計方法

問2-11-1 あなたなら(下記対象からの差別に)  
最初にどのように対応しますか

「あきらめる」  
以外の回答

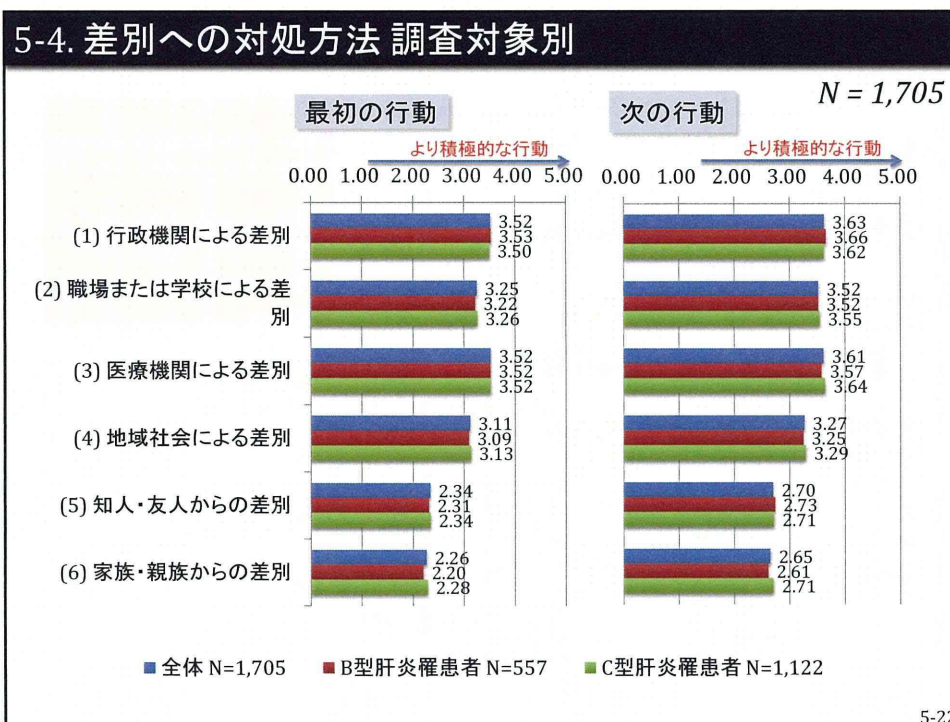
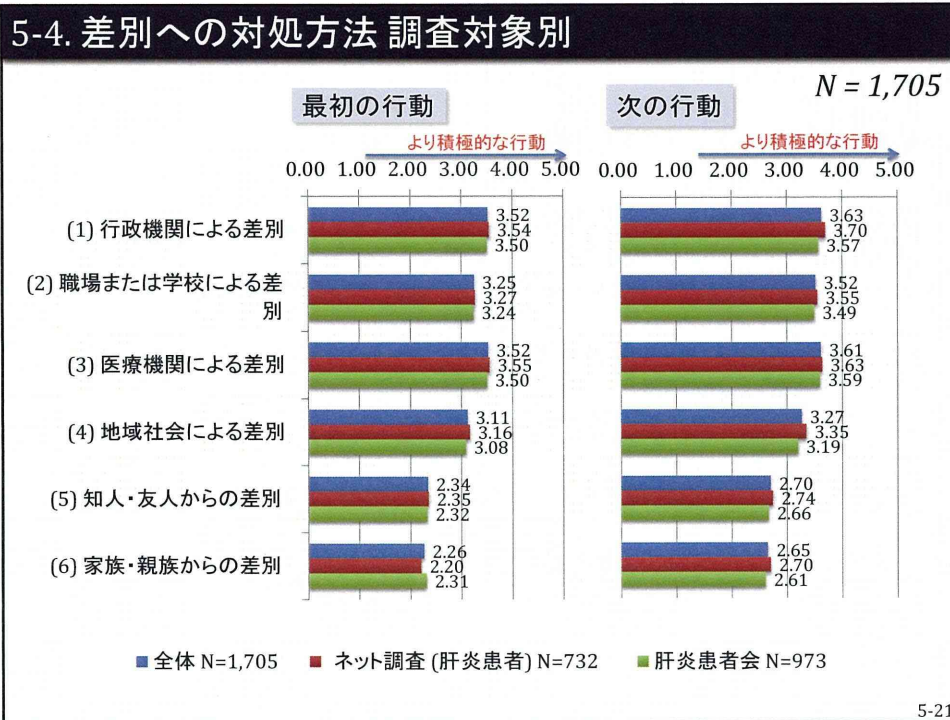
問2-11-2 前問の対応で解決しなかった場合、  
次にどのように対応しますか

- (1) 行政機関による差別
- (2) 職場または学校による差別
- (3) 医療機関による差別
- (4) 地域社会による差別
- (5) 知人・友人からの差別
- (6) 家族・親族からの差別



より積極的な対処方法が  
高得点になるように  
選択肢に配点し、  
平均点を集計する

5-20



## 厚生科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）

分担研究報告書

## 医療従事者の肝炎及び肝炎患者に対する認識の実態

研究分担者 四柳 宏 東京大学大学院生体防御感染症学准教授

## 研究要旨：

日本肝臓病患者団体協議会が患者を対象に行ったアンケートでは、患者が差別を受けたと感じている機会の4割以上が医療機関への受診時である。その原因を分析するために、(1) 肝炎患者の周囲にいる医療従事者が肝炎ウイルスを含めた病原微生物に関してどの程度の知識を持っているか、(2) 医療従事者が肝炎ウイルスの感染経路に関してどの程度の知識を持っているか、(3) 医療従事者がウイルス肝炎やウイルス肝炎に罹患した患者に対してどのようなイメージを持っているか、(4) 医療従事者が患者に対して抱く偏見、差別感情と関係のある行動様式、性格特性があるか、などを検討することを目的に医療従事者1315名を対象としてアンケート調査を行った。

明らかになったことは以下の7点である。(1) B型肝炎・C型肝炎の認知度はほぼ100%であり、血液で感染することは9割程度の人が認知している。性交渉により感染すると回答している人も4割程度存在し、一般生活者に比べると認知度は高い。(2) 感染経路の認知度は医師・看護師に比べ、歯科衛生士・助手・技工士や老人施設勤務者では低い。(3) B型肝炎がワクチンで予防できることは医療従事者の約4割しか認識していない。(4) 医療従事者のB型肝炎患者に対するイメージは一般生活者の肝炎患者に対するイメージと類似しており、恐ろしいイメージ、感染させられるイメージを持っている人の割合は両群でほぼ同じであった。一方他の人に知らせて患者を排除すべきと考えている人の割合が医療従事者では高かった。(5) 医療従事者のC型肝炎患者に対するイメージも一般生活者と類似していたが、恐ろしい病気にかかっているとする人の割合が大きかった。(6) B型肝炎患者イメージに対するクラスター分析の結果からは、一般生活者には見られないクラスターがあり、この群に属する人(全体の19%)はB型肝炎に対する恐れはないものの、他の人に知らせて患者を排除すべきであると考えていることが明らかになった。また、知識不足に起因する偏見を抱いている医療従事者も8%に認められた。C型肝炎に関しては一般生活者と医療従事者の間に大きなイメージの差は見られなかった。(7) マニュアルの整備した医療機関で働いていること、標準予防策について知識があることが、肝炎患者に対する偏見、差別を軽減させる傾向にあった。

以上から、(1) 一般生活者同様、肝炎に対する知識が不十分なために肝炎患者に対して偏見を持ち、差別行動をとる可能性のある医療従事者がおり、こうした人に対する教育、研修が必要である。(2) 肝炎の感染力を認知しているため、周囲に情報を開示すべきだと確信している医療従事者がおり、こうした人に対しては標準予防策とHBワクチンの接種の徹底が必要である。(3) すべての医療機関、特に歯科がマニュアルを整備し、標準予防策を遵守するように指導を行う必要がある。ことが偏見・差別撤廃のために有効な対策となり得ることが示唆された。

## A. 研究目的

平成23年5月16日に告示された「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」には、肝炎患者等に対する偏見、差別が存在することが書かれている。日本肝臓病患者団体協議会が患者を対象に行ったアンケートでは、患者が差別を受けたと感じている機会の4割以上が医療機関への受診時である。このことは医療従事者が肝炎（肝炎ウイルスの伝播）に対して正確な知識を有していないことを示唆している。

この仮説が正しいかどうかを検証し、医療の場における肝炎患者に対する偏見、差別の原因を明らかにするためにアンケート調査を行うこととした。

## B. 研究対象と方法

(株) インテージに予めインターネットアンケートのモニターとして登録されている約1300人を対象にアンケートを行うこととした。

まず、スクリーニング調査として医療従事者のモニター約7000人に対して事前調査を行った。

調査項目は(B-1)の通りである。調査では(1) ウイルス肝炎を含めた感染症そのものを認知しているか、(2) 自身及び肉親にウイルス肝炎感染者がいるかどうか、を尋ねることとした。

(1) は感染症そのものを認知している者を選び出すための、(2) は本人及び肉親がウイルス肝炎の場合アンケートの対象から除外するためである。スクリーニング調査には6824人から回答があった。

スクリーニング調査で得られたサンプルから約1500人に対して本調査(B-2)の依頼をした。最終的に有効回答が得られたのは1315人(医療従